

# 令和7年度 理科 <第1学年> 年間指導計画と評価規準

## 理科 教科の目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

## 理科 第1学年の目標

- (1) 日常生活で見られるいろいろな生物とその共通点、身のまわりの物質、生きている地球、光・音・力による現象に関する事物・事象に着目しながら理解を深めるとともに、これらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。
- (2) いろいろな生物とその共通点、身のまわりの物質、生きている地球、光・音・力による現象について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、これらにおける規則性を見いだして表現する。

## 第1学年年間指導計画（評価規準）

		★ 知は、知識・技能	思は、思考・判断・表現	主は、主体的に学習に取り組む態度	評価方法
月	単元名	指導内容	評価規準		評価方法
4 月 ～ 6 月 中 盤	いろいろな生物とその共通点  <25時間>	1 植物の特徴と分類 2 動物の特徴と分類	知	いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類の仕方、生物の体の共通点と相違点を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けています。	授業観察 ノート 小テスト 定期テスト 探究レポート ハーフォーマシステム (顕微鏡)
			思	身近な生物についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現している。	
			主	いろいろな生物とその共通点に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
6 月 中 盤 ～ 9 月	身のまわりの物質  <25時間>	1 いろいろな物質とその性質 2 いろいろな気体とその性質 3 水溶液の性質 4 物質のすがたとその変化	知	身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、物質のすがた、水溶液、状態変化を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けています。	授業観察 ノート 小テスト 定期テスト 探究レポート ハーフォーマシステム (が入バーナー)
			思	身のまわりの物質について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを通じて、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現している。	
			主	身のまわりの物質に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
10 月 ～ 12 月	生きている地球  <26時間>	1 身近な大地 2 ゆれる大地 3 火をふく大地 4 語る大地	知	大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、身近な地形や地層、岩石の観察、地層の重なりと過去の様子、火山と地震、自然の恵みと火山災害・地震災害を理解しているとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けています。	授業観察 ノート 小テスト 定期テスト 探究レポート

			<p>思</p> <p>大地の成り立ちと変化について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだして表現している。</p>	
			<p>主</p> <p>大地の成り立ちと変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	
1 月 ～ 3 月	光・音・力による現象  <25時間>	1 光による現象 2 音による現象 3 力による現象	<p>知</p> <p>身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、光と音、力の働きを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p> <p>思</p> <p>身近な物理現象について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズの働き、音の性質、力の働きの規則性や関係性を見いだして表現している。</p> <p>主</p> <p>身近な物理現象に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	授業観察 ノート 小テスト 定期テスト 探究レポート

余剰時間4時間は、理科の探求活動等にあてる。